

◆これからの英語教育

平成32年度から小学校で全面实施される次期学習指導要領。その中で注目されていることの1つが英語教育です。現在は小学校5、6年生で実施している「聞くこと・話すこと」が中心の外国語活動が、3、4年生に前倒しして実施されます。また5、6年生では「読むこと・書くこと」を段階的に取り入れ、外国語科として教科化されます。これは小・中・高等学校で一貫した外国語の学習を行っていくことで、国際社会で通用する外国語の力をつけていくためのものです。

◆旭市の取り組み

市では次期学習指導要領へ円滑に移行するために、今年度から年間指導計画や教材、評価方法などの検討を始め、来年度から先行実施ができるように準備を進めています。

現在、全小学校に外国語指導助手(A L T : Assistant Language Teacher)と日本人英語教師(J T E : Japanese Teacher of English)を派遣しています。学級担任が、6年生はA L T、5年生はJ T Eと共に協力しながら楽しい授業を展開しています。

授業ではリズムに合わせて発音やイントネーションを学ぶチャンツや、デジタル教材を活用したゲーム、自己紹介やお話し作りなど、児童が楽しく外国語を学ぶこと

ができるように指導しています。授業中だけでなく、休み時間もA L TやJ T Eに、積極的に英語で話しかける子どもたちの姿が見られます。

A L Tは6人で、各中学校に勤務(二中は2人)しながら、中学校区の小学校を中心に担当しています。J T Eは3人で、1人が小学校を5校ずつ担当しています。

次期学習指導要領が全面实施される平成32年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。将来、旭市の多くの児童生徒が外国語で日本の文化を発信したり、国際交流に貢献したりする日が来るかもしれません。



外国語活動(6年生)の様子

第13回 みんなの学校自慢



私の大好きな 古城小学校

古城小6年
辻内 茉希さん

私たちの古城小学校の自慢できるところ、1つ目は校舎と周りの風景です。古城小の校舎は屋根がオレンジ色で三角屋根が付いていて、とてもきれいで可愛らしいです。また目の前のグラウンドは広く、とてもきれいに整備されていて、全校児童が一斉に、楽しく遊ぶことができます。さらに3階の図書室から南側を眺めたときの風景は、校歌に「八万石の大耕地 開ける丘の校庭に」とあり、見渡す限りの開けた田園風景が最高です。そして北側には緑の里山とその上には畑が広がっていて、そこには昔の城跡や縄文時代の古墳がたくさんあり、まるで昔の人たちが私たちをやさしく見守ってくれているようで

す。

2つ目は、古城小の児童は、誰にでも元気に挨拶ができること。先生方や保護者だけでなく、地域の方にも自分から挨拶をします。

3つ目は学年の隔てなくみんなが仲良しなこと。1年生から6年生の混合班で遊ぶこともあり、高学年はお兄さんお姉さんになりきって、低学年の子のお世話をしながら仲良く遊びます。

私はこんな古城小が大好きです。あと半年で卒業してしまいますが、これからもずっとこのままで、私の大好きな学校であってほしいと思います。



大好きなお兄さんと一緒に!